

『第3期朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）及び
朝日町人口ビジョン（案）の策定について』に係るパブリックコメント結果

第3期朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）及び朝日町人口ビジョン（案）の策定に向けて、同計画の案についての意見募集（パブリックコメント）を、令和7年1月24日（金）～令和7年2月14日（金）にかけて実施したところ、1名の方からご意見をいただきましたので結果を公表します。

ページ 及び テーマ	意 見	意見に対する考え方
全体に 対する 意見	今までも人口減少などに対していろいろ尽力してきましたと思いますが、結果的に減少は止められていない。 いろんなことにお金と労力を使うのではなく、集中的に投資した方が良いと思います。 皆さん分かってはいるのに、根本的な問題に目を背けていると思いますが、やはり交通の不便さと仕事の選択肢の無さが、人口減少に大きな影響を与えています。 電車も高速道路もない町なので、せめて山形市内まで20分程度のアクセスにならないと、住みたい、住み続けたいと思いませんし、仕事が無ければそもそも朝日町に住むという選択になりません。特に山形市までの交通の不便さは、企業誘致にも観光にも、通学、通院にも足かせとなっています。 移住や子育てにお金を給付したり、新たな学校、観光施設の建設に何十億とお金と労力を使う前に根本的なところを解決しませんか。 今解決に着手しないと、永遠と人口減少は変わらないと思います。 また実際にそうした環境が整えば、既に町に住んでいる地元民にとっても住みよい環境ともなるので、町外へ転出する町民が減る効果も期待できるのではないかと考えます。	ご指摘いただきましたとおり、町として取り組むべき課題として、仕事と交通があると考えております。 仕事につきましては、計画の中でも、商工業、農業、観光業の分野ごとに記載し、創業支援や、後継者育成、企業誘致などのさらなる充実に取り組んでいくこととしております。加えて町内企業の募集に対しても応募が少ない状況にあることから、より積極的な情報発信に取り組んでまいります。 また、交通につきましては、山形交通のバスの土日祝日運行が廃止になるなど、公共交通面が今後さらに厳しくなることが想定され、町としてもその対策として山形直行バスの土曜日の往復運行に向けた検討を進めているところであります。 今回、より根本的な交通施策へのご意見として、山形市を始めとした町外へのアクセスの改善について提言いただきましたが、「山形市まで20分」のアクセスを実現する手段として考えられる高速道路や県道山形朝日線、県道山形山辺線の改良については、町の一存で実施できないことや費用面の問題から、早期の実現は難しいと考えております。 しかし、ご指摘のとおり、交通面の改善が仕事の確保や人口減少につながることは確かであることから、交通面の改善に向け引き続き取り組んでまいります。